

第63回全国青年農業者会議実施細目

1. 参加者

参加者の選定にあたっては、次の点に留意する。

ア. 青年農業者は、

ア) 4H クラブ活動に参加し、積極的に農業及び農村生活環境の改善等に取り組んでいる意欲あふれる青年農業者とする。

イ) U・I ターン就農者については、今後4Hクラブ活動に参加が見込まれる者とする。

イ. 担当者及び普及指導員は、都道府県または市町村において農村青少年の育成指導業務に携わっている担当者及び普及指導員とする。

その他、学生・社会人、一般消費者、一般企業の参加も受け付ける。

2. 参加申込み

(1) 参加申込みは、大会申込み URL より申込みすること。

(2) 参加申込みの期日及び振込は令和7年2月12日(水)までとする

大会の開催にあたって実行委員会(事務局)の負担を減らすため、参加申込みの取りまとめを(株)農協観光に事務委託する運びとなりました。大会申込み URL から申し込み、確認メールにて内容変更、振り込みが可能になります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

[令和6年度全国青年農業者会議申込ページ](https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pdkc-mbkfqf-a02e0ff042bd95b0676a321021fb5bb2)

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=pdkc-mbkfqf-a02e0ff042bd95b0676a321021fb5bb2>

3. 会議課題

「機会創造 ～次世代農業への挑戦～」がテーマ。

昨今、SNS では無限に近い情報を得て、自らも情報を発信し、人との繋がりやネットワークを創るのが容易な時代になり、連絡や会議はオンラインで行うことが当たり前になりました。しかしそんな時代だからこそ、「会うという手間が創る価値」「コミュニティーに所属し信頼関係を創る価値」「4Hクラブが創る横のつながりが、お互いを高め成長し合える価値」古臭いかもしれませんが、改めて4Hクラブの価値に気づくことができます。熱意ある若手農業者が所属する組織であり、集う場。それこそが4Hクラブの一番の魅力であり価値だと考えています。昨年度のスローガンを「価値共創」とし、4Hクラブの価値を再認識し、個人では作れない価値を共に作っていくという想いで事業運営に望みましたが、クラブの価値を享受しきれないクラブ員が多くいることに気付かされました。今年度は1人でも多くのクラブ員が、4Hクラブの価値を享受できるように、そして新たなプロジェクトや今まで参加しなかった事業に積極的に参加してもらえるような機会、きっかけを積極的に作っていきたいと考えています。農業界には本当に色々な危機や課題が身近にあります。次代を担う我々4Hクラブ員はそれらの危機や課題を自らの成長の機会と見なし、クラブ活動、プロジェクト活動を介して新たな解決策を創造することで、これまでにない価値を生み出すことができるでしょう。

4. プロジェクト発表

- (1) 青年農業者が以下の表にあるように、「園芸・特産作物」「土地利用型作物」「畜産経営」「地域活動」の4部門に分かれて活動の成果を発表する。なお、発表部門の決定については、取組んだ者の意向を優先し、出場部門を決めることが望ましく、その際の判断材料として、下記の部門分け表を参考にしてもよい。

部門名	発表の概要
園芸・特産作物	プロジェクトの視点が、飼料作物を除く作物生産の技術又は経営改善を中心とした取り組みであること (野菜全般、果樹全般、花き全般、特産作物(お茶、タバコ、薬用作物等))
土地利用型作物	プロジェクトの視点が、飼料作物を除く作物生産の技術又は経営改善を中心とした取り組みであること(水稻、麦、大豆、てん菜、加工用甘藷、加工用馬鈴薯、そば、なたね等)
畜産経営	プロジェクトの視点が、畜産生産(飼料作物を含む)の技術又は経営改善を中心とした取り組みであること(畜産全般)
地域活動	学習や地域実践活動について、個人、グループで共同して消費者や地域を巻き込んだ取り組みであること又は、プロジェクトの視点が、農村生活の改善や農村活性化を中心とした取り組みであること(食育、啓発活動等)

- (2) 令和6年度に開催されたブロック大会で選抜された者(各部門ごとに、各ブロック代表それぞれ1名以内)による発表を行う。
- (3) 発表は、個人プロジェクトまたは共同プロジェクトとし、共同プロジェクトについては代表者1名の発表とする。
- (4) 発表時間は1人10分間とし、その後、質疑応答5分間とする。
発表経過時間が8分で1鈴、10分で2鈴とする。
発表は9分30秒以下及び10分31秒以上で5点減点、11分01秒以上はさらに2点減点とし、その後30秒で再度2点減点、開始から12分以上で2点減点(計11点減点)の上打ち切りとする。(質疑応答を含めて15分で打ち切りとする。)(減点は1課題毎に行う)

発表時間	減点等(1課題毎)
9分30秒以下	-5点
9分31秒以上~10分30秒以下	減点なし
10分31秒以上~11分00秒以下	-5点
11分01秒以上~11分30秒以下	-7点
11分31秒以上~12分00秒未満	-9点
12分以上	-11点及び発表打ち切り

- (5) 発表時間を把握出来る物を持ち込まない。
- (6) 発表者の服装はスーツとする。
- (7) 発表はステージ上でのみ行う。
- (8) 動画の使用は100MB規定容量内とし、長さトータル1分程度以内とする。
音声の使用は認めない。
- (9) プロジェクトに使用した現物を用いての発表は認めない。
パワーポイント内で表現を工夫すること。
- (10) 審査員への配布物、試飲食は禁止とする。

- (1 1) 発表者は参加者名簿備考欄に「プロジェクト発表」と記入し、発表に必要な器材（パソコン、スライド等）を明記する。
映像を利用したパソコン、スライドの発表は、集中管理された「AV操作卓」により行うので、複数の同時投影はできない。組み合わせて発表する場合は、随時切り替えて行う。機材の搬入はできないので、発表の方法について工夫する。
- (1 2) パソコン操作については、必ず補助者を1名つける。
- (1 3) 発表者の該当県は、発表概要（A4判、縦向き横書、2頁）と、別紙様式-2「プロジェクト発表・意見発表者連絡先等調査票」を令和7年2月12日（水）までに会議事務局へ提出する。
※共同プロジェクトにおいて賞状の宛名はクラブ名又は個人名（3人以内）とする。
申込み時にクラブ名又は個人名（3人以内）を記入する。
- (1 4) 発表データはメールにて、令和7年2月12日（水）までに会議事務局へ提出する。（必着）
※パソコンのスペックについて
本年度は下記のスペックのパソコンの使用を予定している。
 - ・OS : Windows 10
 - ・CPU : Core i5-6300U
 - ・クロック : 2.6GHz
 - ・メモリ : 8GB
 - ・使用ソフト : Microsoft Office 2019

5. 意見発表

- (1) 青年農業者が、クラブ活動、農業経営、農家生活、農村環境、ボランティア活動などの自らの体験を通じて、日ごろ考えていること等について意見を発表する。
- (2) 発表者は、令和6年度に開催されたブロック大会で選抜された者(各ブロック発表者それぞれ1名)とする。
- (3) 発表時間は1人7分間とする。
発表経過時間が6分で1鈴、7分で2鈴とする。
発表は6分30秒以下は2点減点、7分31秒以上で5点減点、開始から8分以上でさらに2点減点の上打ち切りとする。（減点は1課題毎に行う）

発表時間	減点等（1課題毎）
6分30秒以下	-2点
6分31秒以上～7分30秒以下	減点なし
7分31秒以上～8分00秒未満	-5点
8分以上	-7点及び発表打ち切り

- (4) 発表時間を把握出来る物を持ち込まない。
- (5) 発表は口頭のみでおこなうほか、口頭に加え、スライドを用いての発表も認める。スライドの操作は、補助者がおこなうか、発表者がワイヤレスデバイスを用いて操作する。※ワイヤレスデバイスは運営が用意したものを使用する
- (6) 発表者の服装は、スーツまたは、主張する意見の内容と合っているものとする。
- (7) 発表はステージ上でのみ行う。演台は設置せず、ワイヤレスマイクを使用する。
- (8) スライドの使用にあたり、動画・音声の使用は認めない。
- (9) 発表者は参加者名簿備考欄に「意見発表（スライドの使用・補助者の有無）」と記入する。
- (10) 発表者の該当県は、発表要旨のPDFファイル（A4判、縦向き横書、1頁）と別紙様式-2「プロジェクト発表・意見発表者連絡先等調査票」を令和7年2月12日（水）までに会議事務局へ提出する。別紙様式-2はホームページからダウンロードする。

(1 1) スライドを使用する場合は、発表データをメールにて、令和7年2月12日(水)までに会議事務局へ提出する。(必着)

※パソコンのスペックについて

本年度は下記のスペックのパソコンの使用を予定している。

- ・ OS : Windows 10
- ・ CPU : Core i5-6300U
- ・ クロック : 2.6GHz
- ・ メモリ : 8GB
- ・ 使用ソフト : Microsoft Office 2019

6. 会議の運営

会議の運営は開催要領により行うが、参加者は次の役割を分担するものとする。

(1) プロジェクト・意見発表共通

司会者(1名)運営もしくは各地域から選出したクラブ員をもって充てる。

タイムキーパー(1名)運営もしくは各地域から選出したクラブ員をもって充てる。

(2) その他の会議内容

司会者(1名)運営もしくは各地域から選出したクラブ員をもって充てる。

7. 宿泊

各自手配とする。(懇親会場が渋谷駅近くのため、その周辺地を推奨する)

8. 参加経費

(1) 参加経費は、下記A・Bの合計とし令和7年2月12日(水)までに納入する。

A : 会議費 全協加盟道府県 : 1人あたり 5,000円

(内訳 : 資料代500円、運営管理費4,500円)

全協非加盟都県 : 1人あたり10,000円

(内訳 : 資料代500円、運営管理費4,500円、非加盟参加費5,000円)

B : 懇親会費 6,000円

(※1) 送金者は氏名の他に都道府県名を記入すること。

(※2) 大会当日現地現金決済は会場の都合上難しいため、必ず振込でお願いします。

(2) 経費納入後、不参加の場合及び会議中の早退等にもなう参加経費の返還はしない。

10. 会議事務局

(1) 事前準備期間中

〒100-0011 公益社団法人 大日本農会内
東京都千代田区内幸町 1-2-1 (日土地内幸ビル 2 階)
担当 : 事務局長 浅津
Mail : 4hkikaku@gmail.com
Tel : 03-3584-6739 (大日本農会 落合)
080-1925-9687 (浅津携帯)
Fax : 03-3528-8140

(2) 会議開催中

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内センター棟 307 号室
担当 : 事務局長 浅津
Tel : 080-1925-9687

11. 発表者関係の提出について

(1) 別紙様式-2 「プロジェクト発表・意見発表者連絡先等調査票」のデータファイルは、全協のホームページ内「第 63 回全国青年農業者会議」の「様式ダウンロード」よりダウンロードし、ファイルに該当事項を入力の上、次のメールアドレスにメール添付にて送信する。

(2) 全協ホームページ : <http://zenkyo4h.com>

メール送付先 (会議事務局) : 4hkikaku@gmail.com

また、ダウンロードができない場合は、連絡があれば、様式のデータファイルを送信する。

(3) ホームページでは様式ダウンロード以外に、送付した開催要領・実施細目なども印刷用にダウンロードできる。

12. その他

(1) 発表課題については、今後の参考資料として、承諾を得られた発表のみ、YouTube 配信を行う。

(2) 全国青年農業者会議における発表ルールに関し、この実施細目に定めるもののほか、緊急に必要なが生じた場合は、全国農業青年クラブ連絡協議会役員と審査委員が協議して対応する。

1 3. 会議会場案内

国立オリンピック記念青少年総合センター



○JR 東京駅から

JR 中央線約 14 分新宿駅乗り換え

小田急線各駅停車約 3 分

参宮橋駅下車徒歩約 7 分

○小田急線

参宮橋駅下車徒歩約 7 分

○羽田空港から

東京モノレール約 23 分浜松町駅乗り換え

JR 山手線(外回り)約 23 分新宿駅乗り換え

小田急線各駅停車約 3 分

参宮橋駅下車徒歩約 7 分

京急本線約 16 分品川駅乗り換え

JR 山手線(外回り)約 23 分新宿駅乗り換え

小田急線各駅停車約 3 分

参宮橋駅下車徒歩約 7 分